

話す

1. 話す練習はまず人真似から始めます。
2. 表現の引き出しを頭の中にたくさん用意します。
3. 日本語ではよく主語を省略するので、意識して主語から始めます。

これが日本人に一番難しい練習です。話すにはまず聞いてくれる相手が必要ですし、ほとんどの人は始めは恥ずかしいと思います。英語で話すことは「真似する」ことの延長上にあるので、映画のDVDを見ながら俳優のセリフを自分も同じ速度で言うことから始めます。最初は英語の字幕を見ながら、次は字幕なしで聴いたセリフをそのままオウムのように真似します。これはシャドウ・スピーキングという練習方法です。一人で出来るので、カラオケの練習をする感覚でやってみてください。英語で表現する引き出しを増やすために、最低10本の映画についてこれを練習します。自分の好きな俳優ならセリフを覚えるのは苦にならないでしょう。英語で使う舌の筋肉をこれで鍛えます。覚えた英語が何気なく口から出て来るようになれば上出来です。英語の歌でもかまいません。脳の中で聴くときに使う部位と話す時に使う部位は違いますので、聴くだけで話せるようにはなりません。話す練習はまず人の物真似から始めます。英語らしいカッコいい音を口から出せるように何度も真似します。

英語を学ぶための本は書店に行けば山ほどあります。またCD付きの本もたくさん置いてあります。でも本やCDだけでは英語を頭に入れるインプットの練